



[今月の聖書]

詩編 102:1-17 「苦しむ者が思いくずおれてその嘆きを主のみ前に注ぎ出すときの祈

C1810 『一羽の雀でさえ』

主よ、わたしの祈をお聞きください。わたしの叫びをみ前に至らせてください。わたしの悩みの日にみ顔を隠すことなく、あなたの耳をわたしに傾け、わが呼ばれる日に、すみやかにお答えください。わたしの日は煙のように消え、わたしの骨は炉のように燃えるからです。わたしの心は草のように撃たれて、しおれました。わたしはパンを食べることを忘れました。わが嘆きの声によって／わたしの骨はわたしの肉に着きます。わたしは荒野のはげたかのごとく、荒れた跡のふくろうのようです。わたしは眠らずに／屋根にひとりいるすずめのように。わたしの敵はひねもす、わたしをそしり、わたしをあざける者はわが名によってのろいます。わたしは灰をパンのように食べ、わたしの飲み物に涙を交えました。これはあなたの憤りと怒りのゆえです。あなたはわたしをもたげて投げすてられました。わたしのよわいは夕暮の日影のようです。わたしは草のようにしおれました。しかし主よ、あなたはとこしえにみくらに座し、そのみ名はよろず代に及びます。あなたは立ってシオンをあわれまれるでしょう。これはシオンを恵まれる時であり、定まった時が来たからです。あなたのしもべはシオンの石をも喜び、そのちりをさえあわれむのです。もろもろの国民は主のみ名を恐れ、地のもろもろの王はあなたの栄光を恐れるでしょう。主はシオンを築き、その栄光をもって現れ、乏しい者の祈をかえりみ、彼らの願いをかるしめられないからです。」

「起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上へのぼったから。見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光があなたの上にあられる。もろもろの国は、あなたの光に来、もろもろの王は、のぼるあなたの輝きに来る。」 (イザヤ 60:1-3)

「神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さった。わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。」 (コロサイ 1:13-14)

お元気でお過ごしでしょうか。今日のテキストは詩編 102 編です。7 節に「わたしは眠らずに屋根にひとりいるすずめのように。」とあります。家庭の団欒を遠く見ながら、ひとり屋根裏にいるすずめとはなんとと言う寂しさでしょうか。さて今日のテーマは「一羽の雀でさえ」ですが、私が若いときから歌ってきた「一羽のすずめに」を思い出される方も多いと思います。この雀はレイモンド・エドマン博士の『人生の訓練』の中では「孤独における訓練」で取り上げられている箇所です。パスカルはパンセの中で「人はひとりで生まれ、ひとりで死んでいくのであるから、ひとりであるように生きるべきだ」と言いました。ひとりである意識は「孤独」と混同されることが多いのですが、そうではありません。それは「神と我のあいだに何も置かない」信仰的意識を意味しています。しかし、しばしば試練や悩み事、病気や人間関係のトラブルの時、神との一対一の関係に気付き、真剣に祈ることができるのです。私は 10 月 10 日、20 歳の秋に、孤独と虚無の中から、神に叫び求めて、救いを見いだしてから 51 回目の記念日を迎えています。そして今も私の「救い」とは何であったのか、神との出会いが何であったのかを自問自答しているのです。この大いなる体験をあなたも味わわれますようにお祈り致します。

(お知らせ)

* 地区集会のご案内

10月2日(火)12:00 CFI 鹿児島集会(〒892-0871 吉野町 9679-2 グランビュー磯 501 号室)

お問い合わせ武田朋子 08017072324 wein-segen@docomo.ne.jp 昼食持ち寄り)

10月9日(火)13:00 CFI 横浜集会(福音喫茶メリー Tel 045-231-6773)

10月10日(水)13:00 CFI 千葉集会(9月台風の為延期となった集会)

(千葉駅前センシティタワー22階東天紅 千葉支店Tel043-238-5555 お問い合わせ杉田敦子 09069568706)

10月17日(水)11:00 CFI 賛美の集い(自由が丘チャペル)、14:00 ジョイコーラス

10月18日(木)11:00 バイブルアカデミー(自由が丘チャペル、受講料3000円 要登録)

* 10月11日(木)19:00 東日本大震災復興支援超教派一致祈禱会(淀橋教会)

* メサイア 2018 記録 CD(2000円)DVD(3000円)発売中

* ライトハウスから「ヘンデル作曲メサイア…奇蹟のオラトリオ」が出版されました。小冊子ですが、メサイア誕生の秘話を立体的に語っています。解説 CD もついています(1000円)。



キリスト教なんでも講座



●神について

●なぜキリスト教の神か

△Q△
どうしてキリスト教の神だけが唯一の神と言えるのでしょうか。

△A△
日本人の心の中には「神々」という意識があります。

大地を造られた神々という創造物語から始まって、偉い人は神社に祭られて神となり、果ては交通安全や受験の神のように、必要な助け手を神としてしまうところがあります。まさに「困った時の神頼み」です。

しかし困った時に都合よく解決してくださる神がおられればよいのですが、現代社会のように問題が複雑であるとき、どんな神に祈るか考えるだけで悩んでしまいます。ご質問の趣旨は、「ほかにも優れた信仰があるのに、どうしてキリスト教だけが本当の信仰と言えるのですか」ということでもあると思います。

世界中には、たくさん歴史的な宗教があります。それはまことの神に至る道を求めている人類の姿を表して

います。しかしよく考えてみると、「真理というものは一つ」です。キリストは「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」(ヨハネ一四・六)と宣言されました。また、天国に至る道は狭く、それを見出す者はまれです(マタイ七・一三、一四)とも言われました。

①まことの神は、天地万物の創造主ですから唯一のお方です。神は闇の中に光を造られ、地球も生物も、生命も、私たちをも造られました。宇宙がこんなに秩序正しく、一秒の狂いもなく運行しているのは、一人のお方の意志で動いているからです。

②まことの神は、人間の手で造った物や巨大石を拝むような方法では見出すことができません。神は霊的なお方で、無限で、どこにでもいてくださるのです。このお方のみが地球全体をも支配することのできる唯一の神です。

③人間の本質的問題である罪を赦し、神と交わる道を開き、人の心を全く造り変えてくださる聖き神は、聖書の示す神のほかにはありません。一刻も早く、このお方にお会いしてください。



ゴスペル・トーク

●神は「天の父」?

△Q△
先日始めて教会に行った時、信者の方が「天のお父様」と祈っていました。神は「天の父」なのでしょうか。

△A△
大切な質問を感謝いたします。国語辞典をひもといてみると、父とは「比喩的に、新しいものの開祖。先駆となった偉大な人」(岩波書店)などともあります。

けれども、「交響曲の父」とか「文学の父」とかいう意味で、キリスト教の開祖であるお方に対して「父なる神」と言っているわけではありません。天地万物の創造者であり、私たちの生命を生み出し、維持してくださるお方を、親しみを込めて「お父様」と呼ぶのです。

もちろん、キリスト以前の旧約聖書(ユダヤ教もこれを教典とする)の時代にも、神を父として語っている部分があります。「主(神)はあなたを造った父ではないか」(申命三二・六)。「父がその子をあわれむように、主は、ご自分を恐れる者をあわれまれる」(詩篇一〇三・一三)。しかし、これはユダヤ民族(選ばれた民)という特権ある人々にとっての父という意味が強かったようですし、「お父様」と呼ぶには、はるかに高い存在であったようです。(続)

この原稿は一九八九年五月五日に
いのちのこぼれ、れから出版された「ゴス
ペル・トーク」の中に編集されたものです。
けさのあゆみ易く読むにはいいですね。
ご紹介します。 小田 新